
景色の一部

和

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

景色の一部

【著者名】

ZZマーク

N6090A

【作者名】
和

【あらすじ】

フラれた女の子が立ち直る為の気持ちの整理。

晴れた空を流れるのは白い雲。
私の頬を流れるのは透明の涙。

フラれた私は、授業にも出る気分じゃない。
高校に入つて初めてサボつた。

私にとつては一大事。

君にとつては、景色の一部。

私が教室にいなくとも君は困らない。
だけど私は、君がいないとシマラなくて困つてしまつ。
だって、私の喧嘩友達だつたじやん?
いつからか私のコトかまつてくれなくなつた。

こんなコトを思つるのは私の我が儘。

「彼女がいるから。」

そんなコト知つてるよ?

だから、最近よそよそしいんでしょ?

だつて知つてて私の気持ちを言つたんだ。

君の困つた表情を私だけのものにしたくて…。
私じゃ君の”彼女”にはなれないってコトも知つてた。

「メンね。

本当は、そんな顔させたかった訳じゃないんだ。

昔みたいに

「何言つてんだ！！」

つて笑つて怒つて欲しかつたんだよ？

ただ、一瞬でも君の頭の中を私だけにしたかったんだ。

そんな願いさえも叶わなかつた。

君の頭の中には、必ずどこかに”彼女”がいるんだ。

私は、俯いた顔を思い切り空に向けた。

泣いたあの私には、とてもとても眩しく感じた。

少し、すつきりしたから次の時間は君の景色の一部になろうと思つ。

私はそのまま教室へ向かつて駆け出した。

君が私を待つていなくとも、早く君に謝つて友達になつてもうつた
めに。

また、喧嘩友達になつて欲しいから。

私は諦めない。

そう、見上げた空に誓つたんだ。

(後書き)

意味不明で「ゴメンなさい」……！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6090a/>

景色の一部

2011年1月16日01時45分発行